

令和3年9月吉日

3年生保護者 様

松山市立旭中学校
校長 高智 義一

令和3年度 全国学力・学習状況調査の概要について（お知らせ）

令和3年5月27日に実施された「全国学力・学習状況調査」の本校の結果と考察についてお知らせします。概要は下記のとおりですが、本校ではこの調査結果を基に、教育指導の充実や学習状況の改善等に努めています。なお、愛媛県と松山市の調査結果につきましては、愛媛県教育委員会及び松山市教育委員会のホームページを御覧ください。

記

1 教科に関するもの

	平均正答率の比較	
国語科	全国平均とほぼ同じ	県平均とほぼ同じ
数学科	全国平均を大きく上回る	県平均を大きく上回る

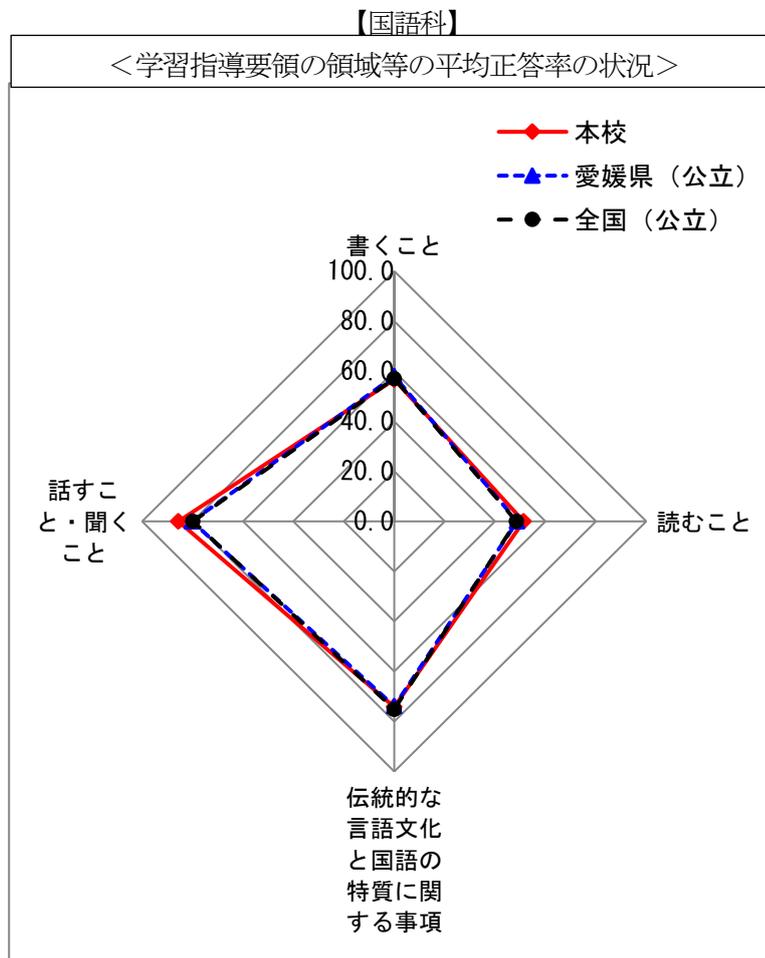
本校と愛媛県及び全国の平均正答率の比較は、その差が3ポイント未満の場合は「ほぼ同じ」、3ポイント以上5ポイント未満の場合は「やや上回る」「やや下回る」、5ポイント以上の場合は「大きく上回る」「大きく下回る」と判断しています。

(1) 国語科

国語科の平均正答率は、全国平均、県平均とほぼ同じです。「学習指導要領の領域等」の中では、「話すこと・聞くこと」は、全国平均、県平均を大きく上回っていますが、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均、県平均とほぼ同じです。今までの授業では、読むことに比重を置いていましたが、今後は、伝えたい事柄が相手に分かりやすく伝わる表現で書くことができるように指導していきます。

また、国語科に対する意識では、「国語が好き」「国語の内容がよく分かる」という生徒が全国平均、県平均を上回っています。しかし、「目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている」「目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている」生徒が全国平均をやや下回っています。

問題形式では、「選択式」は全国平均、県平均をやや上回っています。「短答式」と「記述式」は全国平均、県平均とほぼ同じです。今後は、いろいろな答え方に対応できる実践力を養っていきます。

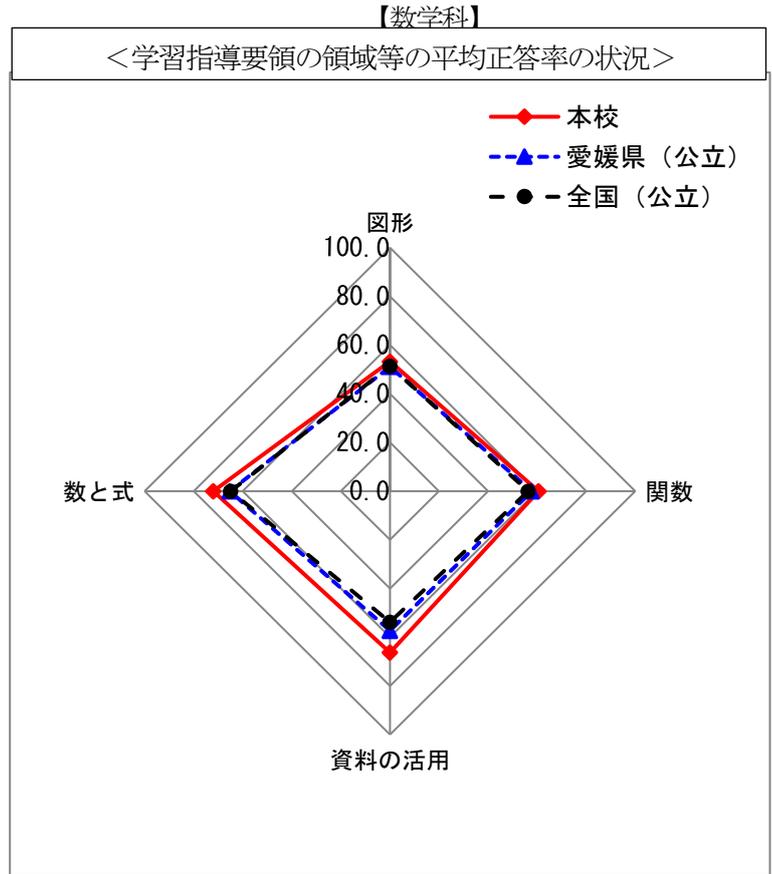


(2) 数学科

数学科の平均正答率は、全国平均、県平均を大きく上回っています。「学習指導要領の領域等」の中では、「数と式」「資料の活用」が全国平均、県平均を大きく上回っています。

問題形式では、「記述式」が全国平均、県平均を大きく上回っていることから、学習成果を活用して、応用したり、論理的に考え表現したりする力が優れていると考えます。個別の問題では、おうぎ形の弧の長さを求める問題や関数の概念を問われる問題がやや悪かったので1年時の学習内容の復習に力を入れたいと思います。

数学科に対する意識では、「好きである」の回答が、全国平均、県平均とほぼ同じです。また、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」との回答が全国平均、県平均を上回っており、最後まで頑張り抜いたことが分かります。ノートを取り方についても「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」という回答が全国平均、県平均を大きく上回っており、好ましい学習習慣が身に付いていると考えられます。



【英語科】

2 教科以外に関するもの (質問紙調査より)

本校の生徒は、毎日朝食を食べる等、基本的な生活習慣がよく身に付いている傾向があります。家庭学習についても全般に意欲的であり、全国平均や県平均と比較して、平日休日共に多くの時間を確保することができています。ただ、個人差が大きいため、今後生徒に対する個別指導、個別相談に努めます。

将来の夢や目標を持つことについては、全国平均や県平均と比較して、意識が漠然としていると思われます。生徒の主体性を大切にし、夢や希望を気軽に語れる'雰囲気づくり'に努めたいと思います。

授業でのICTの活用については、2年時より多くの経験を積み重ねており、様々なツールを使い技能も向上しています。今後もICTの活用を推進していきたいと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大で休校となった時期について、本校の生徒は、大きく動揺することなく落ち着いて対処できていたようです。ただし、計画的に学習したり規則正しい生活を送ったりすることは十分にできなかった生徒も見られます。一人一人が今後の社会の変化にしっかりと対応できるよう、柔軟な考え方や先を見通した計画的な考え方を身に付けさせたいと思います。